



19. 教育の振興 (109) 就学前教育の充実

これまででは

- ・「奈良県版就学前教育プログラム」により、理論・体系の明確化と実践・展開
- ・海外の事例等に基づくエビデンスの収集、調査分析
- ・県内私立幼稚園等における教育プログラムの実例を収集、効果検証

もっと良くするために

奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の実践を推進し、プログラムの普及・啓発や、音楽をすることによる知能、神経の発達を実践します。

目指す姿

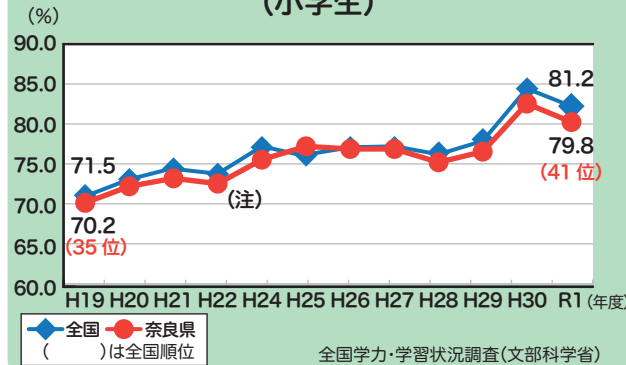
令和6年度までに、奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率を80%にすることで、自尊心の向上を図ります。

就学前教育が充実するためには、施設類型(公立幼稚園、認定こども園、保育所)を超えて活用できる教育プログラムが必要だね。



就学前教育が充実すれば、幼小接続の推進や、奈良県の課題である小学生の自尊心の向上にもつながるね。

自分にはよいところがあると思う (小学生)



(注)平成23年度は調査未実施のため、記載していません。

奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」を普及・啓発すれば、就学前教育の充実を図ることができますよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公立幼稚園、認定こども園、保育所における奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用	施設類型を超えた一体的な研修において「はばたくなら」を活用		
奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」実践事例の作成	研修等で「はばたくなら」を活用した園・所からの実践事例の募集		
「豊かな感性と表現」の育成	音感受への意識を育む講演や、楽器体験等の実施		



20. 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興

(116) 記紀万葉プロジェクトのこれから

これまで

これまで、記紀万葉をテーマとして2012年から2020年の事業として奈良ゆかりの歴史文化の情報発信をしてきました。



古事記のまつり
古事記こどもかるた大会
(奈良春日野国際フォーラム薨)



古事記のまつり
古事記朗唱大会
(同左)

もっと良くするために

- ・ 2012年より取り組んでいる「記紀・万葉プロジェクト」の集大成として、日本書紀完成1300年にあたる2020年に、藤原不比等没後1300年を記念した事業などを実施します。
- ・ 聖徳太子没後1400年を迎える2021年度は、これまで確立した手法をベースに、聖徳太子を広く知ってもらうためのイベントの開催等、奈良ゆかりのテーマを毎年新たに設定し、継続的に奈良の歴史文化を情報発信し成果をあげます。
- ・ 令和6年度の「飛鳥・藤原」の世界遺産登録を目指し、作業を進めます。

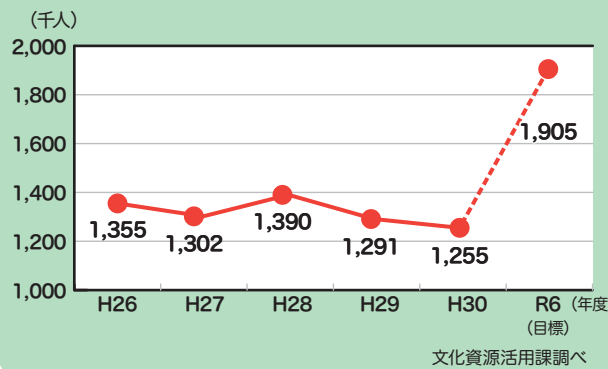
目指す姿

令和6年度までに県立文化施設の来訪者数を1,905千人にします。

「記紀・万葉プロジェクト」ではこれまで展覧会やシンポジウムを開催したり、冊子やホームページを制作して奈良ゆかりの歴史文化を紹介してきたね!



県立文化施設の来訪者数



これからも奈良ゆかりのテーマで継続的に歴史文化情報を発信して、来訪者数が増加するよう努力していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
記紀・万葉プロジェクトの推進	日本書紀完成・藤原不比等没後1300年		
聖徳太子プロジェクトの推進		聖徳太子没後1400年	
新テーマの検討			奈良ゆかりの新テーマ検討(壬申の乱1350年等)

21. 海外との交流展開 (120) 既交流団体との交流強化、新たな交流団体との提携

これまで

- ・ 中華人民共和国陝西省、大韓民国忠清南道、スイス連邦ベルン州、ベトナム社会主義共和国フートー省の4つの海外地方政府と友好提携等を締結し、学生交流、スポーツ交流、文化財保存分野や林業分野の技術交流等を実施しています。
- ・ また、スイス連邦リース林業教育センター、中華人民共和国清華大学等の海外の団体とも、お互いに学び合うという精神で交流を進めています。



学生交流(中国陝西省)

もっと良くするために

- 学び合う姿勢で新たな分野での交流にも取り組みます。
 - ・ 森林環境管理制度の構築のため、スイスのリース林業教育センターと交流
 - ・ 次世代養成を目指した青年交流や、専門分野交流、経済交流等新たな交流
 - ・ 中国陝西省や韓国忠清南道との友好提携締結10周年記念を契機とした新たな交流
 - ・ 中国清華大学との文化・産業等の交流
- 新たな地方政府・団体との交流を進めます。
 - ・ NAFICとBCC(バスカカリナリーセンター)との連携推進
 - ・ ウズベキスタン・サマルカンド州等との新たな友好交流

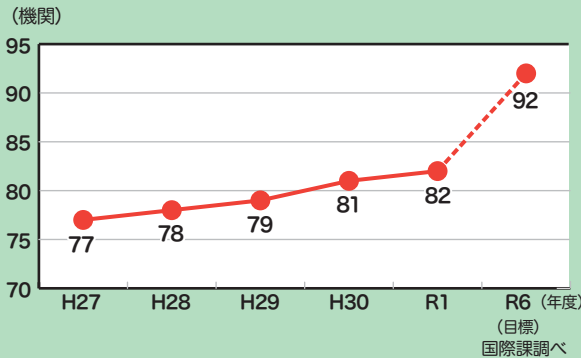
目指す姿

令和6年度までに国際交流を行う地方政府等の数を92機関にします。

奈良県は海外の地方自治体等、いろんな団体と積極的に交流しているんだね。交流の内容も学生交流や技術交流等、幅広いね。



国際交流を行う地方政府等の数



海外の様々な団体との交流を通して、共通の課題への取組や新たな人材交流、技術交流、経済交流ができ、お互い有益なんです。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
スイスの制度を参考にした新たな森林環境管理制度の構築	スイス・リース林業教育センターとの交流 奈良県版フォレスターを養成する奈良県フォレスターアカデミー設立、フォレスター養成		
中国陝西省等友好提携先との交流	友好提携先への青年派遣、スポーツ分野における青少年交々交流 友好提携締結10周年事業準備 → 友好提携締結10周年事業の実施 → 人的交流や経済交流の更なる発展		
中国清華大学との交流	具体的な交流の検討・実施		
新たな地方政府・団体との交流	NAFICとBCCとの連携による具体的な交流の検討・実施 ウズベキスタン・サマルカンド州等との友好提携締結に向けた協議、交流分野・事業の検討		